

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：
 秋田県 井川町立井川義務教育学校

活動名：
 特色ある学校づくり
 学校組織マネジメントを活用して

目標・方針：
 2 年前に開校した本校は小中の学校文化の融合を目指し、新たな義務教育学校として 9 年間の枠組みで児童生徒の成長を考えている。そこで、次の 2 点が課題となる。
 1 義務教育学校の特性を生かした学校運営
 2 町に 1 つの学校であることを意識した地域とともにある学校づくり

目標・方針：
 1 スムーズな学校運営のための職員組織づくりと昨年度の反省を生かした教育課程の実施
 2 社会に開かれた教育課程の実現のための地域連携

活動内容：
 1 職員組織づくり (図 1 参照)
 ①学年の区切りと主任 ② 2 人の教務 ③中期以上 (5 年以上) の複数担任制
 2 反省を生かした教育課程の実施 ①日課表の工夫 (図 2) ②学校行事の練習時間の工夫
 3 学校応援協議会 (井川町版コミュニテースクール) (図 3)
 4 井川みらい学 (総合的な学習の時間) の充実 (写真 1・2)

活動の成果： 表 1 職員・保護者アンケート参照
 ○期を中心とした集会などの活動が充実した。また、期ごとの上の学年 (4 年、6 年、9 年) がリーダーとなって活動する場面が確保できるようになった。
 ○期ごと、前中期合同、中後期合同で活動のねらいを踏まえて、効果的に活動を行えた。
 ○職員は 9 年間の意識をもち、児童生徒の指導をあたるようになってきている。保護者のアンケートからも義務教育学校のよさが伝わり始めている。に記入して下さい。
 ○学校応援協議会を開いたことによって、地域の方々に学校を理解してもらえたり、地域の考えを聞けるきっかけになった。
 ○地域の方々に協力いただいた授業を行ったことから、子どもたちは活動に意欲的に参加し、ふるさとの理解にもつながっている。

アピールポイント (アイデアや工夫)：
 ○期ごとに主任を置いたことにより、期の活動が機能的になったこと
 ○全校、前期、中期、後期、前中期、中後期のまとまりで活動することを明確にしてきた
 ○1 つの町に 1 つの学校であることから地域と密接に関わり合いながら井川みらい学を進めている

<写真、図表添付欄>

図 1 学校組織図

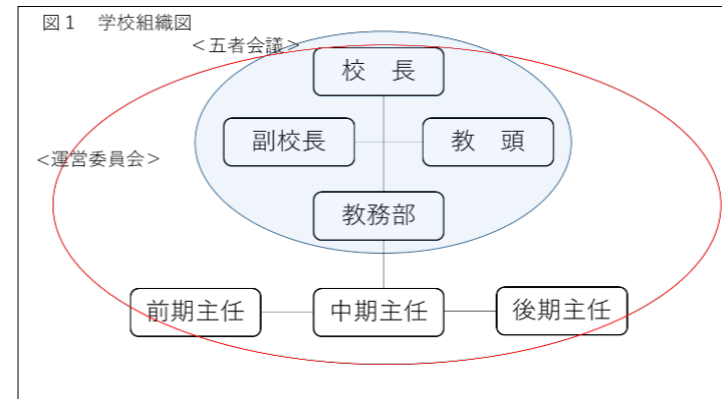


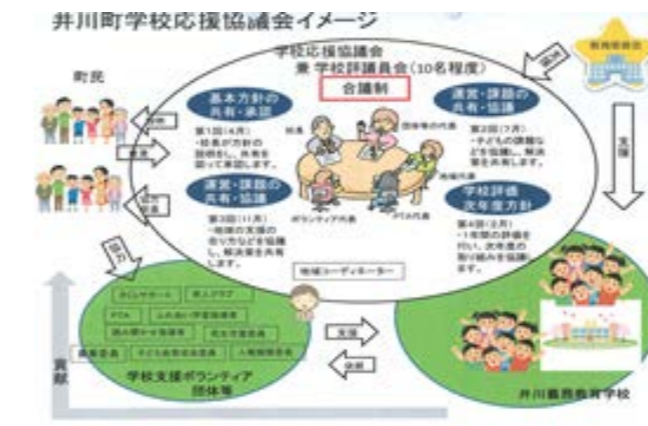
図 2 一部 50 分授業を導入した日課表

日課表

学 年	1～4 年	5～6 年	7～9 年
登校完了	8:10		
朝の活動	8:15～8:40	8:10～8:35	
1 校時	8:40～9:25	8:40～9:25	8:40～9:30
2 校時	9:35～10:20	9:35～10:25	9:40～10:30
元気タイム	10:20～10:40	10:25～10:40	
3 校時	10:40～11:25	10:40～11:30	10:40～11:30
4 校時	11:35～12:20		11:40～12:30
給食	12:20～13:00		12:30～13:00
昼休み	13:00～13:20		
昼清掃	13:20～13:35		
昼読書	13:35～13:50	13:35～13:45	
5 校時	13:50～14:35	13:50～14:40	13:50～14:40
6 校時	14:45～15:30	14:50～15:40	
帰りの会	15:30～15:45	15:45～15:55	

□ チェイム時刻 □ 50分授業
 1～4 年は 45 分授業、5～6 年は一部 50 分授業、

図 3 井川町学校応援協議会



年 4 回の開催。学校の経営を理解していただき、学校運営への提言、学校評価をしていただく。

写真 1 3 年「井川子ども文化・伝統課をつくろう」



児童館や願人踊り保存会の協力で町に伝わる伝統芸能「願人踊り」を体験、発表した。

写真 2 4 年「井川子ども環境課をつくろう」



県立大学や NPO 法人八郎湯プロジェクトの協力で町を流れる井川の水質調査や校庭の水槽で水草栽培をした。

表 1 職員・保護者アンケート結果

職員アンケート	平成30年度	令和元年度
1 義務教育学校のよさを見だし生かそうとしている	3. 12	3. 32
2 前中期・後期間で互いのよさを取り入れようとする意識が高まった	3. 00	3. 33
3 分掌組織が機能するように協働して取り組んでいる	2. 65	3. 22
4 学校・学年・生徒会行事等はねらいを踏まえて改善が図られている	3. 08	3. 59

保護者アンケート	平成30年度	令和元年度
1 義務教育学校になってよかった	2. 84	2. 99
2 学校行事を工夫して行っている	3. 21	3. 33